



第 14 号

発行：
十日市場開拓伝道
支援会

巻頭言 開拓伝道と忍耐

井之上薫(福岡聖書教会牧師)

神学生の最初の二年間、私の奉仕教会は中山キリスト教会でした。1973年のことですから、今から43年前になります。4月の最初の日曜日、緊張しながら初めてコール先生の自宅を兼ねた中山教会にうかがった時、玄関で迎えてくださった先生の言葉を今も覚えています。先生は「あなたは今日からここで忍耐を学ばせよう」と仰ったのです。当時はまだ中山教会は開拓途中で、コール先生の自宅の居間に十人前後の人たちが集まって礼拝をもっていました。先生が忍耐と言われたのは、開拓伝道の忍耐のことでした。それから二年間、開拓伝道者としての宣教師の忍耐をそばで見せていただき、学ぶことになりました。

忍耐はあらゆる事に必要ですが、特に開拓伝道はそうだと思います。祈って、工夫して、汗を流してみことばの種を蒔きますが、現実を見るとほとんどの種が道端に落ちたように感じられる時があります。土造りをしながら種まきを続け、失望しないで、まだ見ぬ選びの民がこの地にたくさんいる約束を信じて、忍耐して実りの時を待たなければなりません。ヤコブが書いている、貴重な実りを得るために秋の雨、春の雨を耐え忍んで待つ農夫のようです(ヤコブ5:7)。

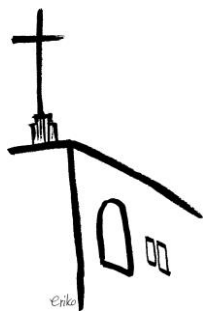
また、救われた人の霊的成長をあたたく見守るのも忍耐を要します。自分のことを棚に上げて、つい性急な成長を求めてしまいます。また集められた兄弟姉妹たちが、キリストにふさわしい群れとなり、麗しい神の家族として結び合われていくことも、時間と忍耐を要します。開拓伝道はキリストのからだに属する地域教会を生み出す働きですから、産みの苦しみが伴います。希望に満ちた働きですが、忍耐が欠かせない働きです。

願わくは「忍耐と励ましの神」(ローマ15:5)が、私たちの心に「神の愛とキリストの忍耐」(2テサロ3:5)を与え、十日市場でも福岡でも開拓伝道の働きを完成させてくださいますように祈りたいと思います。

会堂工事のためにお祈りください

恵みの神を讃えます。また、祈り支えてくださっている皆様に心から感謝申し上げます。昨年末に購入した新治町の中古物件ですが、2月末から会堂転用工事および外装修繕工事が始まっています。4月末完成予定です。どうか、工事に携わってくださる方々に事故や怪我なく、守られますようにお祈りください。この地域の人々が主と出会う場として用いられますように。

野村卓一(支援委員会委員長)



NEW

献堂式のご案内



そして、十日市場めぐみキリスト教会の献堂式を5月28日(土)午後3時から5時までの予定で行います。正式なご案内は別途お送りいたしますが、今からご予約に入れてくださると感謝です。献堂の感謝と喜びを支援会の皆様とともにさせていただきたく願っています。

諸教会の皆様のご支援を感謝しています。

12月は、クリスマスの諸集会を持ちました。特に、会員がメンバーに入っている「空の鳥」を招いて行ったクリスマスコンサートには、会員の親族や友人が来てくれて、子どもを含めて54人もの参加者となり過去最高となりました。また、10月に見つかった中古の土地建物を購入することが決まり、相手側の都合で早めに支払いが進むことになり、クリスマスの日引き渡しとなりました。土地会堂のことについては一年前から教会内で連鎖祈禱をしていましたが、イエスキリストが地上に与えられた日に、実現したことに深い感銘を覚え、会員一同感謝の気持ちでいっぱいになりました。

1月は、新会堂の改修内容の打ち合わせが続きました。最低限の改修しかできなくてもよいということで、土地建物を購入しましたが、見積もり合わせをする内容としては、外装、1階礼拝室に加えて、地下の部屋の改修も含めることにしました。予算の限りがあることなので、建築士の方からは、地下は無理だろうと言われていましたが、一応見積もり合わせには入れていただくことにしました。最後に議論になっていたのは、1階の床がコンクリートの上にビニールクロスを貼るということで断熱材がつかないということについてでした。現在の会堂と同じような作りということで、冬は暖房があまり効かなくて寒いのではないかと主張が展開されましたが、これ以上は無理という判断で、見積もり合わせには含めないこととしました。

2月となり、いよいよ見積もり合わせになりました。3社に参加していただきましたが、驚いたことに、予算内に1社の見積もりが入りました。このため、無理と言われていた地下の改修もできることになりました。しかも予算との差額が少し残っていたので、なんと1階の床の上に断熱材を敷くこともできることになりました。本当に感謝な見積もり合わせでした。一方、改修しないことにした2階については、天井や壁が相当汚れていたため、ベック先生を中心にして皆で天井貼と壁紙貼を実施しました。壁紙1枚1枚に思いをこめながら、和やかな作業の時となりました。感謝な思いがいっぱいになりました。

鯉淵信也

会計 十日市場開拓伝道支援会

尊いおさげのものを感謝します。2016年2月末で、これまでいただいた献金の残高は、約2732万円となりました。支援会債については、現在3120万円の残高となり、募集を終了しました。リーベンゼラ宣教団からの1000万円の借入を加えますと、合計で約6852万円となりました。さらに、3月に100万円の約束献金がありますので、土地会堂の取得のための総予算7000万円を4月早々に達成できる見込みとなりました。諸教会の皆様のご協力に心から感謝します。

こうした資金により昨年12月に中古の物件を購入し、現在改修工事に入っています。引き続き、支援会債の返済が無事に進むようお祈りください。

2015年12月～2016年2月会計報告

<収入>		12～2月
献金・謝礼等		2,272,460円
利子		639円
合計A		2,273,099円
<支出>		
会堂賃貸料		291,600円
事務費、通信費等		60,166円
合計B		351,766円
<預金残高>		
11月末残高		25,399,532円
今期差し引きA-B		1,921,333円
合計		<u>27,320,865円</u>

<2015年12月～2016年2月に献金や謝礼をいただいた教会等 50音順>
麻溝台、生田丘の上、大磯、上作延、かもい聖書、かもいみつわの会、相模原福音、鷺沼、湘南のぞみ、湘南ライフタウン、菅生、逗子福音、たまプラーザ、長津田、中野島、花の木、浜田山、東村山、本郷台、松見ヶ丘、横浜キリスト福音、横浜さちが丘、横浜永谷、横浜緑園、中山、十日市場めぐみ、個人14件

祈りの課題 ～トマス・ベック師による

1. 新会堂のリフォーム工事のために。5月28日に行われる総会と献堂式への準備が進められ、主の栄光を現すことが出来ますように。
2. 求道者のすくいのために。二人の方は洗礼準備中です。主の励ましと導きがありますように。
3. 伝道活動のために。子どもお楽しみ会、家庭集会、特別礼拝が祝され、福音宣教が前進されますように。
4. 宣教師家族の健康と霊性のために。
5. 宗教法人中山キリスト教会の働き、支援委員会のために。



連絡先：十日市場開拓伝道支援会事務局
〒213-0034 川崎市高津区上作延 906
上作延キリスト教会内 Tel.044-866-6950
メール kamisaku@cj9.so-net.ne.jp

献金窓口：①郵便振替

「十日市場開拓支援ネットワーク」

00280-5-70757

②ゆうちょ 記号 10280 番号 32539591
口座名「十日市場開拓支援ネットワーク」